



<教育目標>

英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

平成 27 年 4 月 7 日発行

No. 1 校長 矢口 仁

## 中野中学校だより

新しい出会いを生かす

校長 矢口 仁

今日 142 名の 1 年生が入学し、平成 27 年度の活動が本格的に始まりました。新しい教室・学級・クラスメート・担任……と新しいことばかりです。気持ちを新たに、具体的な目標を胸に良いスタートを切ってほしいと思います。

この時期、様々な場面で新しい出会いがありますが、どのような出会いであっても、それを生かすかどうかは本人の心のもち方によるところが大きいと思います。

テニス界で大活躍をしている錦織選手は、マイケル・チャンコーチとの出会いから、大きな飛躍を遂げました。錦織選手と同じような小さな体で最高で世界ランキング 2 位であったチャンコーチは、粘り強いフットワークとサーブの威力を増すことに力を入れて指導してきました。それを錦織選手は全て受け入れ、見違えるようなプレーヤーに成長しています。

また、サッカー日本代表が新しい監督と出会い、素晴らしいチームに変貌しました。積極的な守備と、ボールを奪ってからの早い攻撃が監督の意図するところで、それを見事に具現化しているように感じます。また、若手を積極的に登用することで、チーム内に切磋琢磨の状況を生み出しています。

このどちらも、新しい出会いを生かして自分たちを成長させ、とてもうまくいった例だと思います。

私は高校時代の部活動の顧問の先生との出会いによって、大きく変わりました。高校に入学した時、その先生もバスケットボールの指導をしたくて小学校から転勤してきた若い先生でした。

指導は厳しく、土日にも練習・練習試合の連続です。しかし、私にバスケットボールの魅力と「チームワークの基本は、まず自分を高めること。そして、目標達成のために何ができるか考え、チームに貢献すること。」ということを教えてくれました。

私が教員になってバスケット部の顧問をしようと思ったのは、その先生の大きな影響でした。また、組織はどうあるべきであるかということを経験することができたのもその先生のおかげです。

人は、机の上で教科書から学ぶことがたくさんありますが、それ以上に周囲の人から学ぶことがあります。新しい出会いが多ければ、それを生かして学ぶ機会も多くなります。この時期の新しい出会いを大切に、自分の生き方について考え、自分を大きく成長させていってほしいと思います。出会いの季節は、飛躍の季節になることもあるのです。